

釜石・大槌・遠野地区の女子高校生を対象に
「女性のための建設業の仕事見学会」を開催しました！

沿岸広域振興局経営企画部

10月4日（土）、沿岸広域振興局では、釜石公共職業安定所、釜石市、大槌町と共催し、釜石市内で女性が活躍している建設業の仕事現場を見学する「女性のための建設業の仕事見学会」を開催しました。

復興工事が進んでいる中で人手不足が深刻化する建設業において、女性の活躍の場を広げるための契機とするべく、この見学会を企画しました。



当日は釜石商工高校、大槌高校、遠野緑峰高校から計 14 名もの女子生徒の皆さんに参加いただきました。



一つ目の見学先は「釜石港須賀地区災害復旧工事」の現場。榊青紀土木のベテラン女性技術者・倉澤久美さんらからレクチャーを受けました。復興現場の最前線に、参加者は感心しきり。

現場では、生徒が実際に光波測距儀を使った測量を体験。体験した生徒からは思わず「おおー！」という声が上がりました。





二つ目の見学先は、水道管工事の設計・施工等を手がける三浦設備(株)。ここではパソコンを使った設計業務から完成図書の作成までの一連の仕事の説明を受けました。



設計業務を始め幅広い業務を担当する古舘美恵子さんは、「今は内勤でも、最初に現場の仕事を経験したからこそ今の仕事ができるようになった」と言います。

最後に釜石・大槌地域産業育成センターに場所を移し、見学先企業の女性経営者・担当者と参加生徒の皆さんでの「フリーストーキング」を行いました。



生徒の皆さんには自分が地域を復興させるという強い想いがあり、建設業に大きな関心を寄せていました。次々に飛び出す「将来は建設業に携わり故郷を復興したい」といった発言に、企業側の女性経営者と担当者の皆さんも驚き、そして感激していました。

企業側からは、「女性が働く環境やキャリア形成の環境も整ってきている。復興に携わるなら今しかない」、「女性ならではの細やかな配慮が顧客からの信頼につながっている」といったコメントも。真剣に聴き入る生徒の皆さんの眼差しが印象的でした。